



## オーディオ・ビジュアル室(AV室) 光ディスク・マイクロリーダー室のご案内

最近の図書館では何らかの形でAV資料によるサービスが一般的になってきています。当館でも昨年の開館にあたりオーディオ・ビジュアル室を設け、府立図書館として初めてAVサービスを始めました。音響資料としてCD、カセットテープ、MD(ミニディスク)を、映像資料ではビデオテープ(VHS)、ビデオディスク(LD)を所蔵し、貸出や館内視聴を行っています。

現在、およそ7千点のAV資料を所蔵。(発注済み、受入整理中の資料を含めると約1万点になります)。資料の収集は、平成7年度から始めました。このため、購入できた資料の範囲に片寄りも見られますが、評価の高い芸術作品やドキュメンタリー、ハウツーもの、語学学習、調査研究用等々、幅広い資料の収集に努めています。音響・映像資料ならではの世界を十分にお楽しみ下さい。

### 38のブース(46席)があります

オーディオブースは窓に向かって11ブースあります。その中の1ブースは椅子を設げず車椅子のままでCDやカセットテープなどが聴けます。

ビジュアルブースは1人用が16ブース、2人用が4ブース、多人数用(5人席)が1ブースの合計21ブースあります。

それぞれ15インチ、21インチ、33インチのモニターテレビでビデオテープやLDが視聴できます。



特別な字幕の入ったクローズド・キャプション付きソフトを再生できるデコーダーを設置するブースも用意しています。

各ブースでは液晶パネルに残時間が表示され、音量調節、早送り、巻戻しが手元で操作できます。

また5分間席を離れると音声・映像が自動的に

止まる離席センサーの機能も備えています。

ウェイティングブースは、ブースが満席の時、順番待ちのためなどに使う席です。6ブース(6席)あり、ここでは常時CDとLDを流していてその中から好きなプログラムを選べます。



### 使い方はいたって簡単

今のところAV資料はすべてAV室に開架していますので、視聴したいソフトのケース(ジャケット)を館内利用受付にお持ち下さい。受付ではコンピュータに入力してブースを指定します。あとは席に座り液晶パネルを押すだけでAVシステムから音声・映像が送出されます。ブースの使用時間はソフトの再生時間プラス5分とっています。

ブースが満席になれば「館内視聴予約票」をお渡します。予約票には予約番号と最大待時間を印字していますのでウェイティングブース等でお待ちください。実際の待時間は途中で終了される利用者がいるため通常短くなります。ウェイティングブースの予約案内モニターには予約番号と待時間が逐一表示され、ブースに空きができるとチャイムとモニターでお知らせします。

### ソフトの送出にはロボットも活躍

自動送出と手動を併用しています。自動送出はあらかじめAVシステムのカートにソフトを収納しておき、コンピュータ制御でロボットがカートからソフトを取り出し、プレーヤー(デッキ)に



400巻収納できるVHSカート

1200枚収納できるLDカート

装着し映像・音声を送り出すシステムです。

カートに収納していないソフトは、職員が手動で行っています。

### AV資料を探すには

各階にある利用者用端末かAV室のAV資料専用利用者端末でお探し下さい。ホストコンピュータとAVシステムのコンピュータは相互に通信していますので、いつも最新の資料状態（在籍、利用中）が分かります。

AV資料専用利用者端末では、カートに収納しているビデオテープ・ビデオディスクの内容（映像）を3分間モニターすることもできます。

また、オーディオ資料、ビジュアル資料別にタイトル順と分類順の冊子目録を用意しています。



### モニター機で内容を確認

本をパラパラとめくって内容を確かめるように、CDやカセットテープ、ビデオテープの視聴もできます。



CD・カセットテープ視聴機



ビデオテープ視聴機

### 貸出もできます

館内視聴用のビデオテープ、ビデオディスクと著作権の承諾のとれていないビデオテープを除き貸出もおこなっています。

貸出点数は1人2点までです。

貸出期間は図書と同じで3週間です。

### 紛失・破損にご注意！弁償には補償金が上乗せ

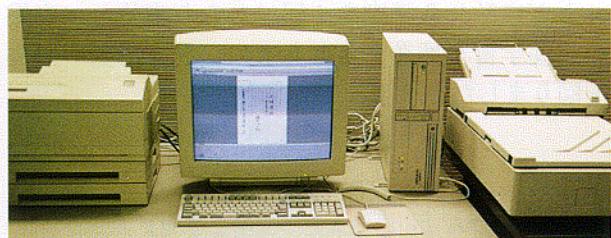
図書館のビデオ資料は、利用者の皆様に貸出をするため、著作権者への補償金を含めて購入しています。紛失・破損された場合は、この補償金を含めて弁償していただくことになりますので、十

分ご注意ください。

### 光ディスク・マイクロリーダー室

AV室のとなりの室には、ニューメディアによるサービスの一つとして光ディスクシステムと9台のマイクロリーダーを設置しています。

### 光ディスクとは



光ディスクシステムは、ビデオディスクやCDと同様にレーザー光を使って光ディスク盤に大容量の書類や図面を画像情報として記録できる記憶装置です。

図面や文書等紙媒体を光ディスクで電子化することにより、資料の保存性が高まり、多様な検索、連続ページめくりや表示画像の拡大・縮小等が簡単におこなえます。中之島図書館の貴重書など直接出向かなければ見ることのできない資料も当館で気軽に閲覧できます。現在、中之島図書館の資料は近世の大坂関係の貴重書40タイトルと織田作之助文庫の草稿全点（170点）を取り込んでいます。当館所蔵では貴重書の、ディドロ、ダランベール監修『百科全書』（1751-1781刊、初版本）の図版集の取り込みをはじめおり、その一部をご覧いただけます。

### マイクロ資料の利用は

従来から親しまれているマイクロフィルムには、新聞各紙のほか国会会議録や官報などがあります。マイクロリーダーでは16mmフィルムやマイクロフィッシュも見ることができます。マイクロリーダーでは16mmフィルムやマイクロフィッシュも見ることができます。マイクロリーダーでは16mmフィルムやマイクロフィッシュも見ることができます。マイクロリーダーでは16mmフィルムやマイクロフィッシュも見ることができます。料金は1枚70円になっています。



利用のお申込み、操作方法については、AV室の職員にご相談ください。